

令和八年度

岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校

適性検査Ⅱ

【注意】

- この検査は、文章や資料を読んで、太字で書かれた課題に対して、答えやあなたの考えなどをかく検査です。課題ごとに、それぞれ指定された場所にかきましよう。
- 検査用紙は、表紙（この用紙）をのぞいて三枚^{まい}あります。指示があるまで、下の検査用紙を見てはいけません。
- 「始め」の合図があつてから、検査用紙の枚数を確かめ、三枚とも指定された場所に受検番号を記入ましよう。
- 検査用紙の枚数が足りなかつたり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあつたりした場合は、手をあげて先生に知らせましよう。
- 検査用紙の

※

 には、何もかいてはいけません。
- この検査の時間は、四十五分間です。
- 表紙（この用紙）と検査用紙は、持ち帰つてはいけません。

受検 番号	
----------	--

※

資料①【ピカソ「ゲルニカ」】

※著作権の関係により掲載していません。

課題1 太郎さんは、図画工作の授業で資料①「ピカソ「ゲルニカ」」を見たことや、資料④を読んで思ったり感じたりしたことを友人と話し合っています。資料①から資料④を読んで、(1)から(5)に答えましょう。

資料②【話し合っのの様子の一部】

太郎 今日の日工の時間に、絵の感想をグループで話し合ったよ。人によって見るポイントがちがって面白かったな。この前、先生がしうかいしてくれた文章(資料④)にも書いてあったけど、話し合ったあとに、改めて絵を見ると、最初に見たときとイメージが変わるのがおどろきだったよ。

次郎 その文章の中に「アップデート」って、難しい言葉が出てきてたけど、たしか「情報などを最新の状態にしておくこと」という意味だったよ。文章は、自分自身をアップデートすることが大切だった内容だったね。

太郎 文章には「繰り返す」という行為が、「学ぶこと」そのものと書かれていたよ。ふく習することと似ているね。

花子 そうだね。小さな子どもの例がとて分かりやすかったな。小さな子どもは **A** を繰り返すことで言葉を学んでいくんだよね。

太郎 ぼくは今日の日工の時間で、学習の記録(資料③)に「 **B** 」と書いたよ。友達と話し合ってみて、考えが深まったし、他のことも知りたいと思ったからね。こんなふうに書いてみると、自分自身がアップデートされたことがよく分かるね。

次郎 そうだね。だから、学習の記録を書くことは、とても大事なんだね。また、今日の日工みたいな学習にチャレンジしたいな。

資料④【先生がしうかいしてくれた文章の一部】

「人は、どうやって学ぶのか」

そう聞かれて、パッと答えられるでしょうか？意外と難しいですよ。

イメージしやすいように、小さな子どもが言葉を覚えていく様子を想像しながら考えてみたいと思います。

小さな子どもは、文字を読むことができません。それでも言葉を覚え、話せるようになります。それは、どうしてでしょうか？

子どもは、まわりの大人たちの話す言葉を、まずは音で判断して、それと同じ音を出してみます。そして、まわりの反応を見ます。

もし、その反応が微妙だった場合、自分が発した音がずれていると理解して、もう一度、調整して言葉を声に出します。そして、再びまわりの大人たちの反応を見ながら、しっくりくるまで修正する。その繰り返して言葉を学んでいくわけです。

この「繰り返す」という行為こそが、学ぶことそのものといえます。

私が、なぜいきなり学ぶことについて語りだしたのか？

それには理由があります。一般的に、新しい知識やスキルを身につけることを学ぶことと考える人が多いと思いますが、これからの答えのない時代には、それ以上に「自分で自分を学ぶ」姿勢が大切になる。私は、そう考えます。そして、本書のテーマである自分の頭の中を言語化する行為は、自分のことを繰り返し学んでいくことそのものでもあります。

自分は、どういう人間なのか。自分が大切にしているものは、なんなのか。本当は、なにに悩んでいるのか。自分のことを繰り返し学ぶことによって、これまで気づかなかった自分の思いや意見をつかめるようになります。

そうやって、自分の頭のなかを言語化できていると、だれに何を聞かれてもパッと答えることができます。これが瞬時に言語化できる状態というわけです。

(中略)

私たちは、毎年、毎月、毎日、毎時間、新しい経験を重ねます。新しい人と出会ったり、新しい考えや情報にふれたりして、自分の思いや意見は、気づかないうちに少しずつ変化していきます。

だからこそ、自分の頭の中を言語化して、常に自分の思いや意見を最新版にアップデートしておくことで、どんなときでも一瞬で思考がまとまって、変化にも対応しやすくなるのです。

(「こうやって頭のなかを言語化する。」より 荒木俊哉著)

※スキル：訓練や学習によって習得できる能力や技能

資料③【太郎さんの学習の記録】

学 習 の 記 録		
6年 1組 5番 氏名(岡山 太郎)		
日付	1人で考えたこと	友達と話したこと
12/4	えがかれている人が苦しそうだし、色も白黒でこわい印象をうけた。	この作品は戦争をえがいたものだった。
/		B

(1) 資料②の——線部「ふく習」とありますが、次の条件にしたがって二字の熟語を考え、漢字で書きましょう。

〈条件〉○「ふく」を漢字に直し、「ふく習」以外の熟語を答えること。

○「ふく」という字が上にくるものと下にくるものをそれぞれ一つずつ答えること。

※

--

--

(2) 資料②の~~~~線部「アップデート」は外来語といい、外国から入ってきた漢語以外の言葉が日本語として定着したものです。資料②の中から「アップデート」以外の外来語を一つ抜き出し、文脈に合うように外来語以外の表現に直しなさい。

※

(外来語)

(外来語以外の表現)

受検 番号	
----------	--

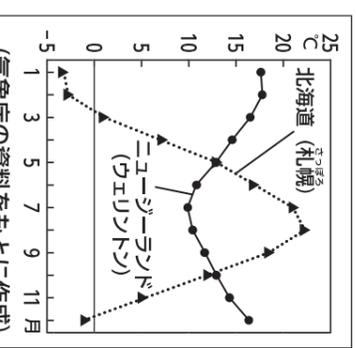
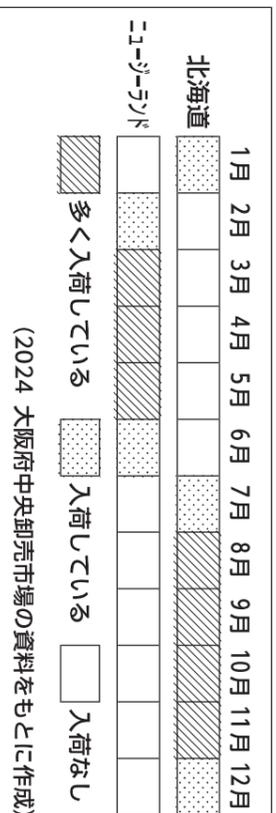
3※

課題3 太郎さんたちは、地域間のものやりとりについて、調べ学習を行っています。あとの会話を読んで(1)～(3)に答えましょう。

太郎：家族と買い物に行ったら、国内だけでなく、いろいろなところで採れた野菜が並んでいたよ。その中でも、かぼちやの産地が気になったので調べてみると、資料1のように入荷していることが分かったよ。

資料1 かぼちやの代表的な産地と月ごとの入荷量

花子：主に、北海道とニューゼalandから入荷しているんだね。どうして、この2つの産地から、かぼちやを入荷しているのだろう。



次郎：北海道とニューゼalandは、どのような特徴があるのかな。気候にちがいがあのかな。
太郎：2つの産地の気温を調べてグラフにすると、資料2のようになるよ。

- (1) 大阪府中央卸売市場で、かぼちやを主に2つの産地から入荷している理由について、資料1・2から読み取れることを関連づけて書きましょう。

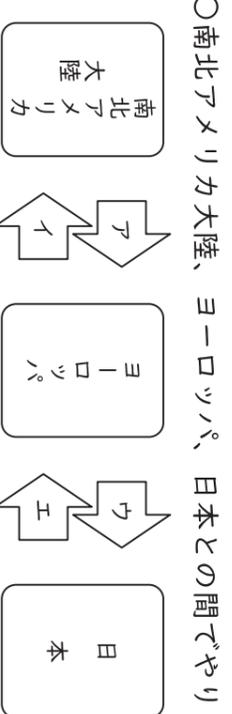
※	
---	--

太郎：かぼちやって、漢字で「南瓜」と書くよね。どうしてかな。

花子：調べてみると、名前の由来が「南蛮渡来の瓜」という説もあって、織田信長や豊臣秀吉が活やくした時期にヨーロッパから持ちこまれたそうよ。鉄ぼうやキリスト教以外にも、その時期に日本にやってきたものがあつたんだね。

次郎：それらをまとめて歴史新聞を作ってみようよ。当時、世界でやりとりされた主なものを資料3のようにノートにまとめたよ。

資料3 次郎さんのノート



【考察】日本に伝わった主なものは、その由来から2つのグループに分けることができる。

- | | |
|---|--------------------------------|
| ア | じゃがいも、とうもろこし、かぼちや、カカオ、銀 |
| イ | 小麦、コーヒー、キリスト教、火薬 |
| ウ | 火薬、鉄ぼう、じゃがいも、とうもろこし、かぼちや、キリスト教 |
| エ | 刀剣、しつ器、屏風 |

- (2) 次郎さんは、日本に伝わった主なものは、2つのグループに分けられると考えました。あなたなら、資料3の【考察】の続きをどう書きますか。解答らんの書き出しの言葉に続けて、日本に伝わった主なものの名称と分け方を、由来と関連付けて書きましょう。

※	1つ目のグループは、
---	------------

太郎：国どうしのもものやりとりについて、気になるニュースを見つけたよ。資料4に見られる問題は、なぜ起こるのだろう。何か、できることはないかな。

資料4 ニュースの内容

花子：廃棄物を減らすには資料5のような工夫があるけれど、例えば、買い物をするとき、わたしたちができるリデュースの取り組みには、どのようなものがあるのかな。

- (3) ① 太郎さんは、下線部の理由の1つを次のように考えました。BとCに当てはまる言葉の組み合わせを下のア～エから選び、記号で答えましょう。

自国で B できる以上の衣類が C されているので、余った衣類が廃棄物になってしまっていることが考えられる。

- | | |
|---------------|---------------|
| ア (B 生産・C 輸入) | イ (B 消費・C 輸入) |
| ウ (B 生産・C 輸出) | エ (B 消費・C 輸出) |

--

- ② 買い物をするときに、あなたやあなたの家族ができるリデュースの具体的な取り組みを1つ考え、その取り組みがリデュースになるといえる理由を合わせて書きましょう。

資料5 廃棄物を減らす工夫

リサイクル：ごみを資源として再生して利用すること

リユース：ものを捨てずに、くり返し使うこと

リデュース：ごみを発生させない工夫をすること

※	
---	--